



とよおか

議会だより

第 6 号

平成12年1月20日

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷(株)



無病息災を願う“どんど焼き”風景（河野・中部）

12月定例会

12月定例会から	2~3
補正予算の質疑から	4~5
一般質問の様子	6~12
最近の活動から	12~13
常任委員会の活動から.....	14~15
議会ミニ辞典	16

①基本料金—8㎡まで(1ヶ月)

メーター口径	現 行	改 定
13 mm	1,300円	1,400円
20 "	2,500	2,600
25 "	3,100	3,200
30 "	3,700	3,800
40 "	4,400	4,500
50 "	6,100	6,200

②超過料金—1㎡当り(1ヶ月)

	現 行	改 定
9~30㎡	140円	150円
31~100㎡	160	170
101㎡~	180	190

◇水道条例の改正
 現在の村営水道の多くが水源を地下水の組み上げとしており、一部地域において水質悪化が進行しつつあります。そこで、安全な水源確保のために、将来郷土沢ダムと日向山ダムより取水する計画を樹てていますが、多額な経費を要するため、今から

◇改定の理由
 現在の村営水道の多くが水源を地下水の組み上げとしており、一部地域において水質悪化が進行しつつあります。そこで、安全な水源確保のために、将来郷土沢ダムと日向山ダムより取水する計画を樹てていますが、多額な経費を要するため、今から

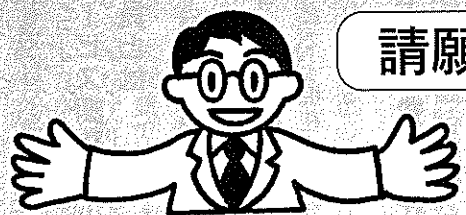
条 例

その財源を積みたてていくものです。

◇議員の報酬及び費用弁償等に関する条例改正

期末手当として、三月、六月、十二月の年三回計四・〇五ヶ月分が支給されていたものを、〇・三ヶ月分を削減して三・七五ヶ月とするものです。

◇一般職の職員の給与に関する条例改正
 人事院勧告通りに期末手当を議員と同様年〇・三ヶ月分を削減し、基本給のベースアップを平均〇・三三%とするものです。



請願・陳情

(採 択)

- 同報無線難聴地域解消についての請願
- 非核三原則の厳守と法制化を求める意見書提出についての陳情
- 周辺事態法による戦争協力要請に関する意見書の採択を求める陳情
- 周辺事態法に関する意見書採択を求める陳情
- 松くい虫の早期防除対策についての陳情
- 竜東井の排水機能改善についての陳情
- 水路事業の地元負担率の軽減についての陳情
- 県道の兼用側溝整備事業に関わる地元負担解消についての陳情

(不採択)

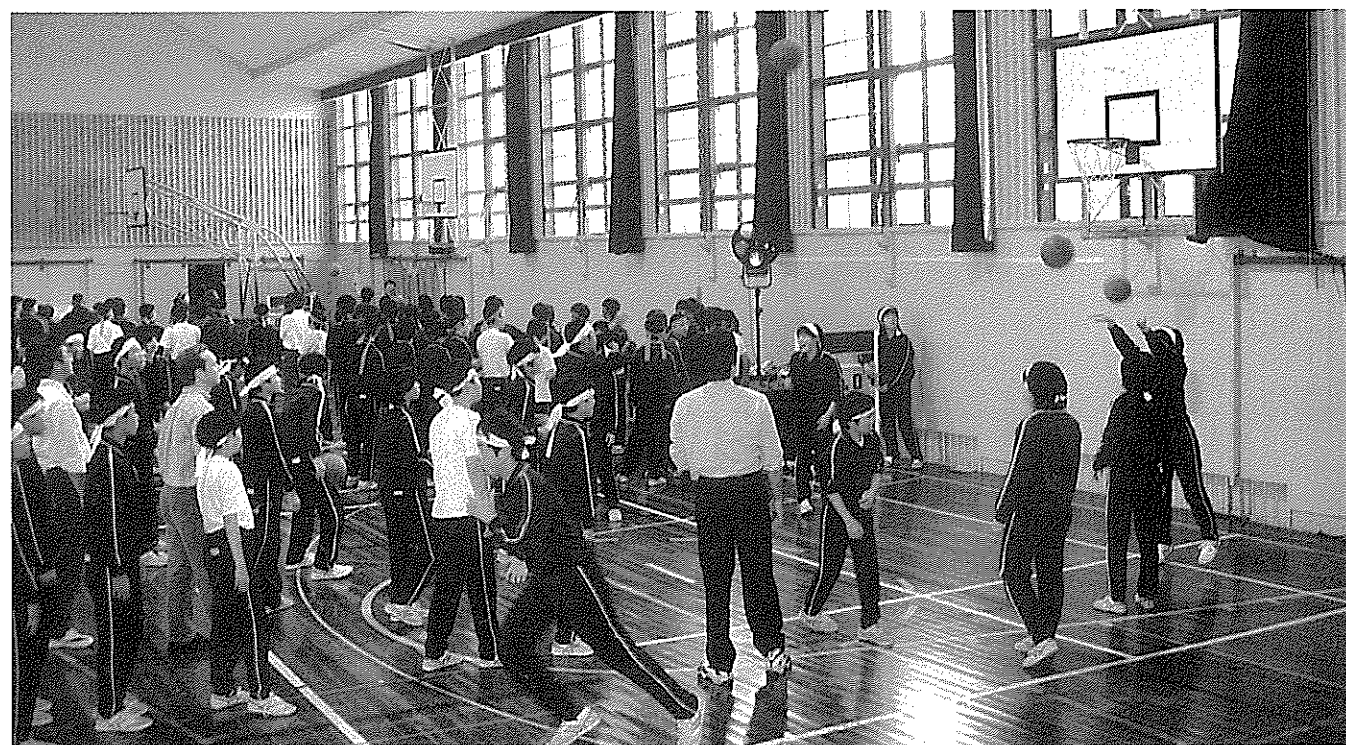
- 同報無線のパンザマスト設置についての請願
- 陶芸施設の設置に関する要望

工事請負契約

平均十一年度地方道路整備事業による、竜東一貫道路工事請負契約の締結が結ばれました。工事箇所は、漆沢橋の右岸(北側)橋台と上部工、及び右岸堤防道路との取付工事です。神稲建設株式会社と、五千四百六十万円が契約されます。



壬生沢東地籍のパンザマスト



改築されることになった現在の体育館

中学校体育館改築に5億余の予算づけ

=12年度完成を目ざして=

第四回(十二月)定例会は、十二月十三日から二十四日までの十二日間の会期で開かれました。今定例会では、補正予算、条例改正など議案十四件、議員提案四件が原案通り可決されました。一般質問は十名でしたが、新年度より施行される介護保険に係る質問が多くみられたのが特徴でした。

一般会計では、開会日(十三日)に第五号、会期中途(二十一日)に第六号と、二度補正予算が提出され、第五号は提出日に、第六号は最終二十四日に原案通り可決されました。

補正額は、第五号、一千二百四十四万三千円、第六号、四億九千六百七十一万三千円、予算総額は四十六億六千五百七十三万七千円となります。

今回の補正の目玉は、教育費として中学校の体育館改築への五億五千六百七十五万円です。これは国の第二次補正予算で、十一年度の補助事業としての見通しが強まったためです。なお、補正額の財源内訳として、起債二億三千七百万円、財政調整基金からの繰入金として、八千万円が計上されています。実質的には十二年度で工事が行われ、十三年度新学期より使用ができます。

補 正 予 算 から

その他には民生費として、介護保険用のパソコン三台、ソフト三種(ケアプラン作成用、デイサービス及びホームヘルプサービスの介護報酬用)九百五十三万円、老人保健医療会計への繰入金四百六十七万円の追加が主なものです。

◇特別会計では
 ○老人保健医療特別会計
 医療費の伸びが九月時点で対前年一〇・八%と、当初予測を大きく上回ってきているため、八千万円余を追加した。

○下水道事業会計
 公共下水道浄化槽(林里)三基目の建設工事委託料が契約時より、六千二百万円と大幅に減額され、変更後は三億五百八十万円となった。

12月定例会

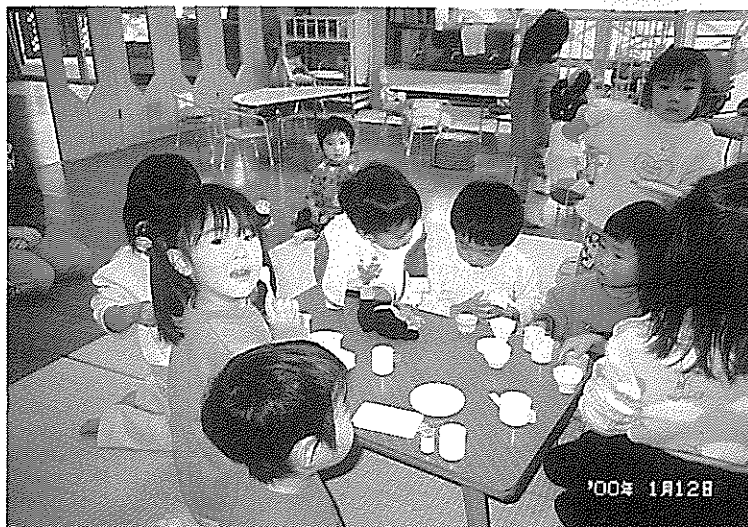
予算特別委員会 審査の質疑から

交際費の伸びが大きい、内容は何か

冠婚葬祭費が、おもなもので、当村出身の国会議員の死去又は、県会議員副議長就任等の交際費がおもな内容です。

賦課徴収費の備品購入費については

二月に入ると、納税相談が始まるが、申告は自主申告が基本であるが、白色申告の場合、公平性を欠くおそれがあるので、試算をしておく必要がある、そ



可愛らしい“未満児さん”（中央保育所）

四月より実施される介護保険業務の一部を、社会福祉協議会へ委託をするものです。その内容は、コンピュータを導入してケアプランの作成と、訪問介護、デイサービスの介護報酬の電算化への対応をするものです。豊丘村で予想される認定者は、二百五十名近い人になるのではと考えている。

の試算算出にコンピュータを購入して行うものであります。

サービス調整チームの委員とは

この委員については、特養、デイサービス等への入所についての、意見及び判定をする委員のことで、現在八名の委員が任命されている。

老人福祉費の委託料は何か

入所者の身元保証人の転入してきた町村が負担すべき費用であるので、今回補正により扶助費として、二百二十五万三千円を支出するものです。

更生施設 入所措置 費は何か

入所者の身元保証人が、飯田市より、豊丘村に転入して来たため、身元保証人の転入して来た町村が負担すべき費用であるので、今回補正により扶助費として、二百二十五万三千円を支出するものです。



寺沢川付近からの一貫道路先線の現況（河野地籍）

算付けを願う様働きかけていく。

児童福祉総務費の委託 保育負担金は何か

これは、未満児保育の関係で、現在村では、十人程度の委託保育をしていますが、今回さらに村内で受け入れが出来ない未満児四名分を、他の市町村へお願いするもので、その費用負担金です。

これについては、村としてあらゆる機関へお願いし、国の予

農業振興費の有害鳥獣 防除対策事業補助金は 具体的に

この費用については、シカを中心とした防除網の補助金で、前回は補正し、今回も二十五万円補正するものです。今年シカに加えて、イノシシの被害も多く、今後はイノシシの防除費も必要ではないか。

松くい虫対策費の 中味は

これは保全松林健全化整備事業で実施していて、国と県の補助金をもらって行います。国は、五分四、県は三分の二の補助率で、今年、当初倒伐駆除二千六百㎡を計画したが、最終的に二千五百㎡の補助金しか交付されず終了します。

不況対策資金利子 補給金制度は何か

この制度は、一昨年の十二月議会に於いて、村単独不況対策の一環として制度を作った。内容は、借入限度額を一千万円とし、期間五年間でその利子を補給するもので、利子は二・六%で内村が一・六%を補給し、個人が一・〇%を負担するものです。今まで利用者はなかったけ

中学校体育館の具体的な事業内容と財源はどうなるのか

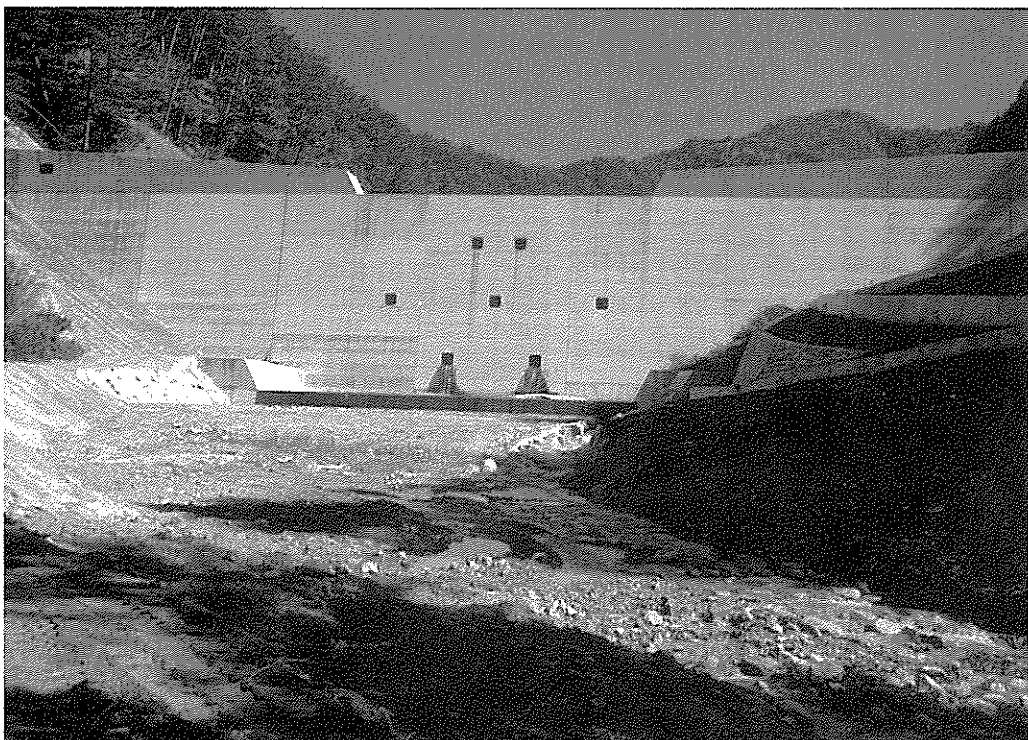
体育館の位置については現在地とは別に、グラウンドの東北側の場所、私有地一千四百三十二㎡を購入して建設する。

老人保健特別会計の 補正は

建物の規模は、鉄筋鉄骨二階建てです。一階は一千六百九十三㎡、二階は三百五十二㎡で、総建物面積は、二千四百五十二㎡。事業費については、総事業費で五億七千八百二十七万八千円です。なお、完成は十二年度中で、旧体育館の取り壊しと周囲の環境整備を含めて、六億円以内を考えています。

今回の補正のおもなものは、

医療給付費で、当初予算算出の際は、前年対比一・二七%の伸びを見越して、予算計上したが、九月末までの医療費、件数を見ると、医療費で一〇・八%、件数で一五・一%の伸びを示している。したがって、老人の皆さんの受診率が高まり、医療費も伸び、追加補正八千三百六十二



砂防専用の青木ダム（掘越）

簡易水道特別会計については

現在豊丘村の水道については、主に、地下水の汲上方式をとっています。そのダムより水道用水として、日量それぞれのダムより一トンずつ分水願うべく、県と協議申請しそれに伴う経費を予算化し準備を進めています。

万九千円と対応します。

が懸念される。現在、郷土沢ダムと日向山ダムが建設に向けて進んでいる。そのダムより水道用水として、日量それぞれのダムより一トンずつ分水願うべく、県と協議申請しそれに伴う経費を予算化し準備を進めています。

一 般



質問 四月から介護保険が発足するが、その認定外となる方についての対策と、現在行っているホームヘルプサービスや介護予防をどう進めようとしているか村の方針を伺いたい。

課長 保健福祉計画を懇話会で検討中であるが一月中に原案を示したい。軽度、家事援助は生きがい生活支援の中で検討中。

質問 国は地方分権、財政事情等で自治体の合併を推進しようとしている。合併がさけて通れないと予想されるがその時期、地域、人口等についてどう考えているか伺いたい。

村長 合併すべきか否か具体的に考えたことがない。

質問 飯伊で町村管住宅のないのは松川町と豊丘村だけである。田村の県住の建替えは二十年以上先である。若者定住、高齢化

質 介護保険の認定外対策は
答 一月中に原案まとめたい

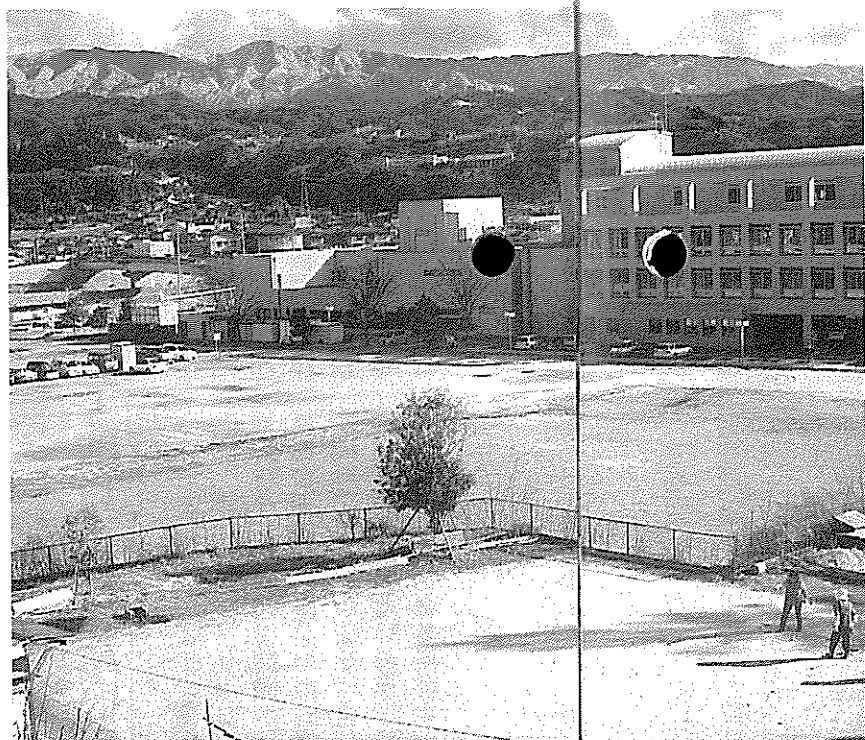
片 桐 秀 人

対策、又障害者の生活自立のためのグループホームとして村管住宅を建設する考えはないか伺います。

村長 村内には民管住宅は五十戸あり民営の傾向にあるため一般住宅としては考えていない。高齢者や障害者用の住宅としてはバックアップしていくように検討して行きたい。



ボランティアの皆さんの施設訪問から (赤石寮)



高森町の福祉施設建設予定地

躍と奉仕をされているが、活躍交付的手当の改善の意志があるか。

村長 豊丘村は第三次長期計画あと三年平成十五年から第四次計画に向けて来年度から先の見通しと関連をもたせて考えてゆきたい。村を越えた事業の協調の諸問題の中の高森町で計画準備をしている福祉複合施設への豊丘村として考え方は、住民の皆さんの喜んでもらえる良い位置であり、高森町と合意できれば協調してゆきたい。

区長、民生委員の担当については、特別報酬審議会を待ち検討を進めたい。又ボランティアの会の皆さんに対しては、一層ボランティア的奉仕の心の皆さんを大切にして参りたいし、長く続けてもらえる施策を検討してゆきたい。

質 問

問

質 高森町福祉複合施設に協調を
答 合意できれば協調してゆく

福 沢 幸 雄

質問 豊丘村役場は平成九年度に新築されましたが、建物の外観が、第一印象に強く、大型建物を取りまく環境の中に目を引く、庭木、水の流れや動き、歌碑、彫刻などの村民の智慧の配置が必要と考えますが、村長の現在考えている構想があれば説明して下さい。

私の現状で考えているいくつかを提言します。

①村木、赤松、村花こぶし(姫こぶし)を前庭に植えて、村木、村花の表示柱を建てる。

②役場敷地の南東側にある、

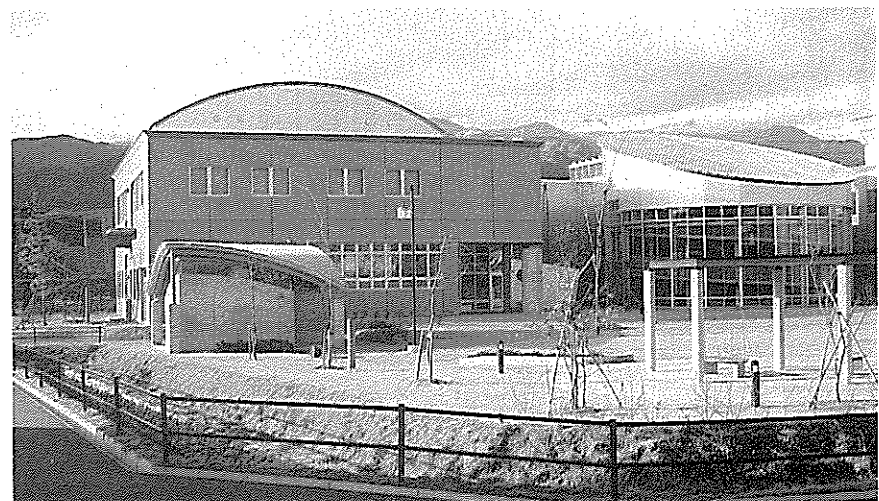
排水路の年間流量を調査して、止水工を施し可能な期間だけでも鯉(黒赤白三種程度)を放流して、目の保養を図ってはどうでしょうか。

③村内には名のある歌人、詩人がありました。歌碑、句碑を樹木の間に配置して、芸術、文化のある役場としてはどうですか。

村長 庁舎は新しい場所に建築してまだ一年であり、若十殺風景の感も思っています。どう改善するかと云う私の具体的な考えはまとまっています。

せんが、現存の庁舎周辺の姿は建設段階で、委員会などが中心にいろいろ検討をして来た結果のもので、基本的な考え方は、あまりいろいろ植えたり、置いたりせず、明るい感じにしようということであったかと思えます。

いずれにしても私達の訪れる役場として愛着をもっていただけの施設として、皆さんのご意見を基に研究をしてまいりたいと思います。



新庁舎の周辺

質問 西暦二千年代に向けて村長の抱負をお聞きしたい。夢を追って人も村も夢を追い続けるものと思えます。豊丘村も夢を追って良き村作りが進んでいきます。

高森町から福祉複合施設を下伊那厚生病院隣りに建設協力を求められているが、どう村を越えて協力するか。又区長は行政の面で民生委員は福祉の面で、ボランティア百六十余名等、活

一 般

質 問

問



デイサービスでの楽しいひととき

質 「社協」の役割認識と強化について 答 福祉面での活動に感謝している

唐 沢 啓 六

来春に行う村政懇談会に、分権法と合せて、考え方と説明を願いたい。又村政懇談会のあり方について、この五年間の出席状況を見ますと、村民の三〇％、有権者の五〇％位であり、開催場所の細分化を計って、参加者の増加を検討して見てはどうか。

村長 地方分権整備法が来年四月実施となりますが、財源確保が明確にされていないので、十分とはいえないが、地方の時代幕開け、国、県の関与が少なくなり、自分達で考え、主役は住民と考えます。合併問題についても、村政懇談会で取り上げてみたい、出席増等にも工夫を凝らしたい。

質問 介護保険制度が施行されると、社会福祉協議会は民間の福祉法人と同列に扱われるが、「社協」の公的な役割に村民は期待している。「社協」に対する村長の基本的な認識はどうか。又、中核となる職員の養成を図っていくことが必要であると考え

村長 「社協」が福祉面で非常に重要な役割を果たしていることに感謝している。今後も住民に密着した「社協」として村民の期待に沿うような活動ができることを願っている。中核となる職員の養成については、理事会等で検討してもらいたい。

質問 介護保険制度が施行されると、社会福祉協議会は民間の福祉法人と同列に扱われるが、「社協」の公的な役割に村民は期待している。「社協」に対する村長の基本的な認識はどうか。又、中核となる職員の養成を図っていくことが必要であると考え

村長 「社協」が福祉面で非常に重要な役割を果たしていることに感謝している。今後も住民に密着した「社協」として村民の期待に沿うような活動ができることを願っている。中核となる職員の養成については、理事会等で検討してもらいたい。

希望のもてる村づくりを



活発に意見交換される懇談会（河野区民会館）

質問 来年四月交流センターがオープンし、村おこしが始まるうとしています。村の特産品リノゴを、一日一個を三回に分けて食べると、心臓病の予防血圧を下げ、ガンの予防にも良いと長年の研究結果が判明、年間リノゴの有利販売を計っては

村長 健康に良いと聞きました。反面果糖が過多になり良くないと聞きます。貯蔵施設となれば、多額な設備費が必要で、科学的に健康に非常に良ければ、今後検討してみたいと思います。

質 地方分権と行革について 答 村政懇談会で取り上げたい

田 中 實

質問 地方分権整備法が来年四月施行となります。個別の法律や政令で、国の介入がかなり残るようですが、住民にわかりやすく、具体的な内容についてと

地方行革、町村合併問題が、広域連合、他町村議会での論議等新聞紙上に出ています。合併問題は避けて通れないのか、住民も非常に関心のある所ですが、



毎週月曜日の「課長会」

質 予算編成の基本的な考え方は 答 住民参加の村づくりを

久保田 博 人

質問 二〇〇〇年代の最初の年の予算は大変だいなもので村として行政を一年間どう運営していくのか注目される所であり。今年には骨格の上へ補正を重ねていますが、十二年度は村長として始めて年間を通すなかで自分の公約を具体的に数字でしめすもので重要施策を実現するために最も力を入れるところ

村長 大蔵省の内示では約二％の増であるが十一年度の交付税は減額であり楽観はしていない、村の予算規模は四十億円前後になると思う、主な事業としては一貫道路の推進、生活関連の道や水路の充実、農産加工施設の建設、高森町との福祉施設の参加、子育て支援対策で運営の基

問 質 一般

質 介護支援センターは高森町と共同で
答 当面、特徴いかすため独自で

奥 山 義 臣

質問 高森町から呼びかけのあった厚生連病院横の福祉施設についてですが、同僚議員と重複することを考えて、私の意見を交えてお考えをお聞きします。

場所 についてですが、常日頃厚生連病院にお世話になっており、交通便も良いことから、豊丘住民が抵抗を感じることはありません。

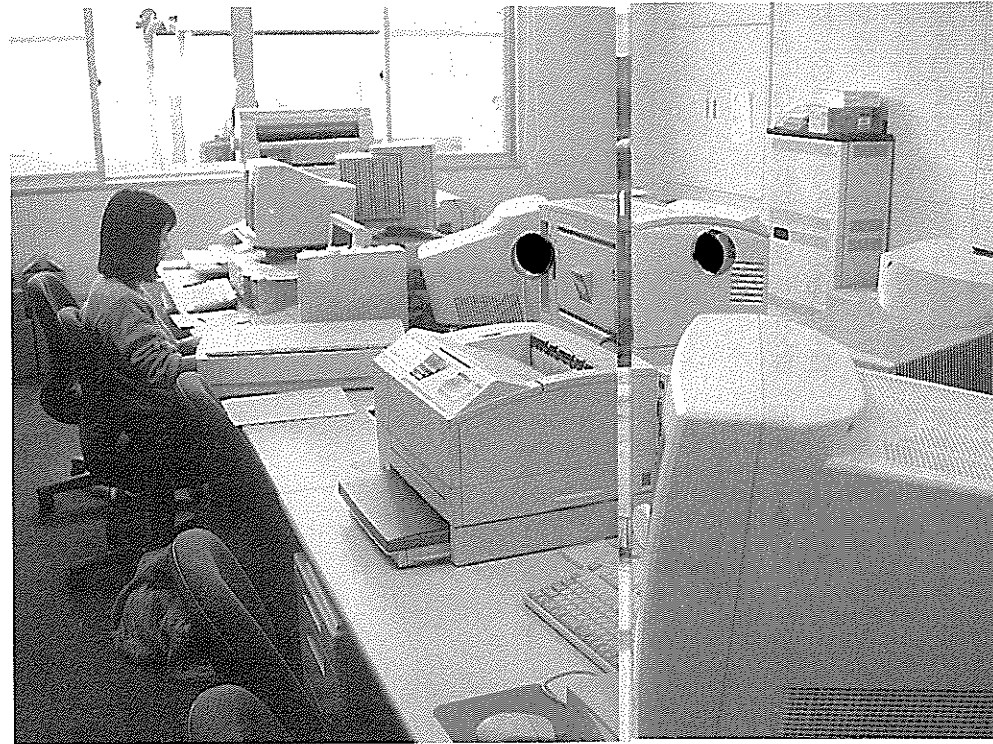
又豊丘、高森の共同運営を考えた時、対象とする人口は約二万人であり、決して多すぎものではないと思います。むしろ職員配置、装備の充実、サービスの強化、お医者さんとの協力等々多くのメリットが生れると思われまます。介護保険事業の大きな柱である在宅介護支援センターの共同運営についてお考えをお聞かせ下さい。

次に介護者支援家用車補助制度について質問します。

通院対策としての家用車利用は多いわけですが、通常の乗用車は身体の不自由な方にとっては、かなり乗りにくいものです。そこで車種の買い替えとか横開きドアとか座席の改良等に対応して、利子補給や補助制度の創設をどうでしょうか。

村長 在宅介護については、町村ごとにそれぞれ独自の歴史と取り組みを行っております。そのことを大切にしながら、今後の取り組みのあり方について検討してまいります。

自家用車支援制度についてはですが、豊丘村では、一台軽自動車を出し出しており、かなりの利用もあります。今後の動向を見て考えてみたいと思います。



コンピューターが並ぶ役場“電算室”

のホームページは開いて居るだけの魅力の無いものです。

四千六百三人のアクセスは、大鹿村の七千九百八十人の五十七%にとどまっております。頻繁な情報更改とタイムリーな情報発信が必要だが、電算化に対応する人材育成と職員への研修はどのように実施されているのか。

村長 新庁舎移転と共に電算化を進め成果を上げている。

四月に印鑑証明の電算化を

実施する。税務関係の情報は、個人情報保護とも関連するので総務課内に限定している。

職員への研修は基本的に完了全員が対応できる体制である。



質 行政の情報化で住民サービスを
答 情報化に向けて対応していく

下 平 豊 久

質 介護保険料・利用料の減免を
答 制度の考えからどういうものか

前 沢 光 昭

質問 介護保険料・利用料の問題は大変深刻だが、保険料は政府の「特別対策」のなかでスタートより半年間無料、その後の一年間が半額、それがすぎれば本来の徴収がはじまる。

それまでに運動が進んで減免がさらにすすめば別だが今の所は可能性は少ない。「特別対策」ではその間の基盤整備はまったくなし。政府がやろうとしている事は選挙目当てと言われても仕方がない。これだけでは不十分。低所得者が保険を利用することが出来なくなることのないように減免制度を独自で出来ないか。(試算書提出)

利用料について、豊丘の年金受給者も国民年金が多い、現在介護サービスのなかでホームヘルプサービスは大きなウェイトをしめる。

今は七十四%の人が無料、引き続き無料で受けられるように住民税本人非課税まで無料にする事によってそう出来る。

村独自で出来ないか。現在村のホームヘルプサービスを受けている人は、九十二人で、無料の人は六十四人。

村長 社会全体で支えあい、その費用の一部を保険料という形で負担する。低所得者にとって負担が増えるのは認識している。そういう中で村の税収など考えると、国で示された基本的な考え方で当面よいのでは。問題点については今後懇話会等の集約もみの中で相談をしていきたい。

軽減対策については、あらゆる機会や町村会を通じて国、県に働きかけていきたい。

質問 行政の情報化が急速に進行する中での、行政事務の効率化と住民へのサービス向上を目指す、事務の電算化・コンピュータ化が図られているところですが、住民票や国保関係、固定資産や土地台帳等の税務関係、さらに介護保険に伴う福祉関係の電算化が進んでおります。

電算化でコストが一番高いのが基本情報のデータベース化です。問題は、この情報資料・データベースの全庁的に有効活用する

る庁内ラン(ネットワーク)が確立されてこそ、住民サービス向上に直結した行政事務の改善向上に繋がります。ワンストップサービス一ヶ所の窓口で総ての用件が済まされる住民へのサービスが可能になるが、村の情報資料・データベースの有効活用と庁内ネットワークの現状と実態とはどうなっているのですか。

今一つは、村のホームページの活用による積極的な情報発信の問題です。率直に申し上げ村



童心にかえり皆で“かるたひろい”



保健センター内の在宅介護支援センター

12年度完成予定 中学校体育館建設予算可決

12月議会 5億5,675万円を補正

中学校の体育館の改築については、建設準備委員を委嘱して設計までの準備をすることになりました。委員として、議会の正副議長、総務正副委員長、教育委員、中学校PTA正副会長、中学校長、教頭の合計十二名が委嘱され、七月二十四日に第一回の会合が開催されました。この席で建設委員長に筒井卓徳総務委員長が、副に毛涯章平教育委員長が互選されました。第一回目の会議では、建設位置の調査、近隣の参考となる体育館三ヶ所を視察し、学校現場の意見を最大限に生かし体育館を造ること、今の体育館を使用しながら新しい場所へ建築し、完成したら既存の建物を取り壊す順序とすることを確認いたしました。

第二回目では場所の決定をしました。現在の石庭の東側のテニスコートのところが最善との結論でしたが、できれば隣接地を購入することがよりベターであり、次回までに取得可能か交渉することになりました。土

地取得の目安があったので、第三回目委員会の開き、学校現場の意見と敷地の制約を調整し、基本設計を完成いたしました。

建設される体育館は、鉄筋、鉄骨造り、鉄板葺、一部二階建、延面積一〇四五㎡で、二階部分へ格技室が設けられます。

十二月議会において建設予算が可決されましたので、今後は、実施設計補助金申請とすすめ、三月頃には入札、着工となる予定です。

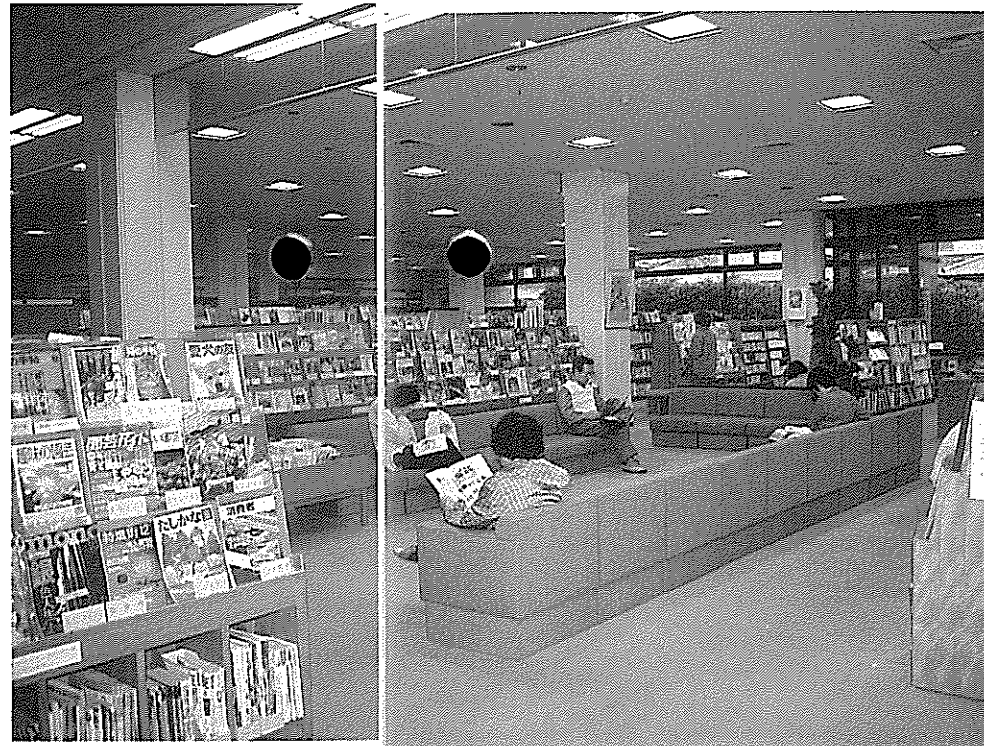
建設準備委員長
筒井 卓徳

滋賀県

能登川町 甲西町

図書館を視察

総務委員会



ゆったりした甲西町図書館

「図書館を見ればその自治体の文化の程度が判る」とも言われております。

豊丘村の図書館は、あまりにもひどすぎます。旧役場の跡地利用と絡め、総務委員会では日本で一番レベルが高いとされる滋賀県の二カ所の図書館を視察しました。

図書館が単なる蔵書の貸出し業務だけでなく、総合的な文化の拠点として情報発信基地の役割を果たしていることに感動し、豊丘の図書館の貧弱さを改めて痛感いたしました。



質問 今年には集中的豪雨にたびたび見舞われ、氾濫の心配がされる水路が一貫水路をはじめとして、村内には多くある。特に田村地区内に集中しています。このような状況下においても、水路改修整備が進まない。このことは、現行の地元負担率が高いことです。又一般水路、農業用水路と河川の排水路に分れ、負担率に差があることです。村内に多い一般水路、農業用水路は二〇%の負担、河川の排水路は八%の負担率です。この負担率を一本化して、道路並負担率又は、それ以下にする必要があると思えます。又これからは減反化が進み、農家の高齢化による農地の荒廃化が進み、道路の整備舗装化と住宅化が進めば、今まで以上に雨水による一旦の水が出ることは目に見えています。したがって現状の水路では対応はできない。水路は、道路とは違い氾濫すれば即災害につながる、尊い生命財産への影響が大きい。村としてどうしても排水路対策に力を入れ、できれば現

一般質問

質 農排水路の整備と地元負担軽減を
答 軽減要望もあり前向きに考える

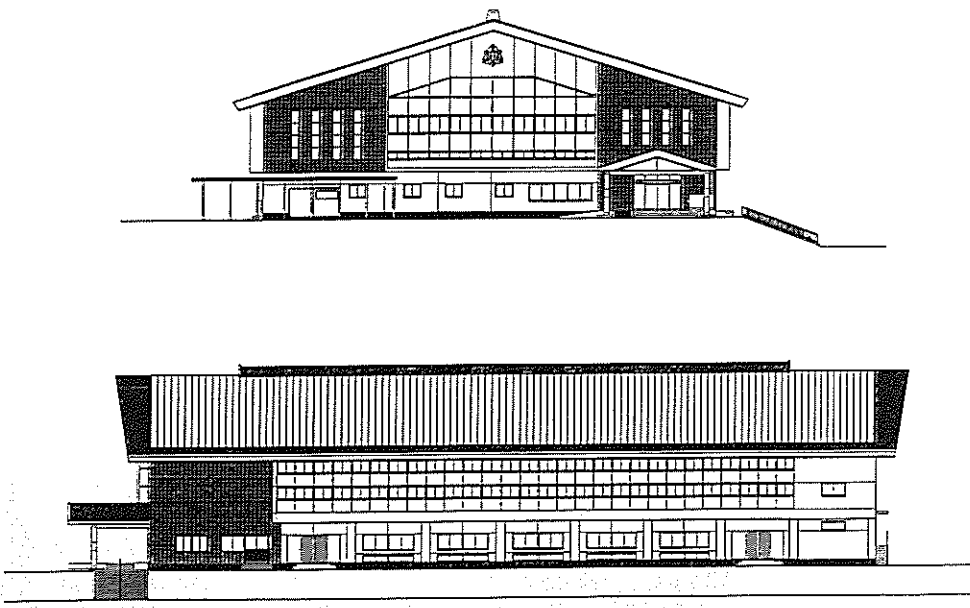
池田 祥明

在ある水路とは別に、道路敷等の下へ地下排水路として対応すべきと考えますか。

村長 水路の整備改修に伴なう負担率は、平成六年に改正し、七年より現在の一般水路、農業用水路は二〇%に、河川の排水路は八%に引き下げたところであります。しかし今回区長会からも地元負担率の軽減要望が出されているわけで、前向きに考えていきたい。尚、排水路対策については、当面現在の水路を生かした対策をもって進めていきたい。



水路改修で住民の安心を



体育館側面図

能登川町図書館		
蔵書数	一般書	59,098冊
	児童書	18,410冊
予算		1億85万円
甲西町図書館		
蔵書数		204,775冊
予算		1億3,560万円

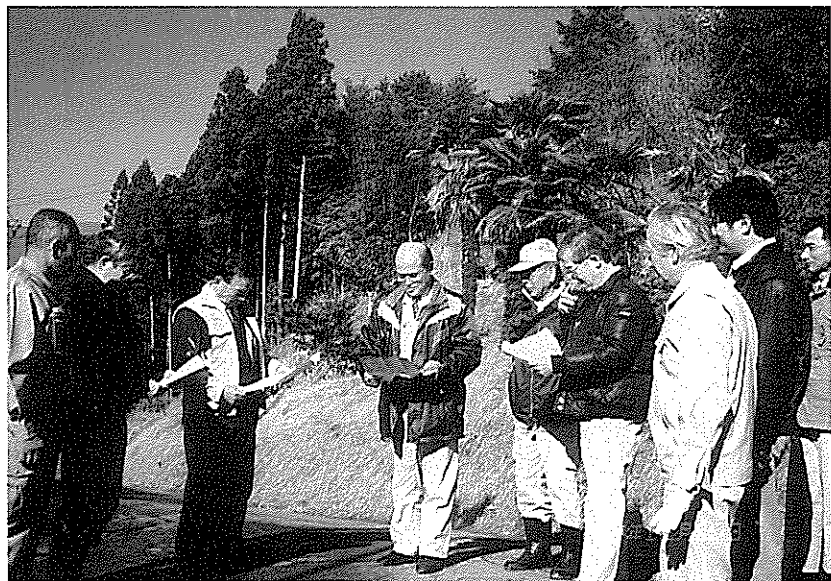
委員会だより

総務 同報無線難聴地域 よりの請願を採択

同報無線については、計画当初から「村内全域をカバーすることは、経済的に無理であるので、難聴地区については個別受信機で対応する」と言う基本方針を進め、第一次、第二次の二回にわたって個別受信機を設置し、現在は個人宅への五十四基を含め、全村へ七十三基が設置されており、第二次の整備をした際は、当時の総務委員会が全村を個別に調査し、必要箇所へは設置し「これで同報無線の難聴地区対応は完了した」という結論となっております。

しかし、本年になって山火事等の緊急連絡が火元地区で知らなかったことから難聴地区対策についての請願が出されました。委員会としては今までの経過を確認した上で、防災無線放送という見地から、全村の難聴地区を再調査し、建設当時に比べ技術革新されている現在の技術で対応したらどうか、と云う事でこの請願を採択とし、パソコンでこの設置の請願は、前記の請願採択で対応が可能等の理由で不採択としました。

(総務委員長 筒井卓徳)



請願人2名を交え現地調査する総務委員会

社会 高森町の福祉施設の建設に参加が決まる

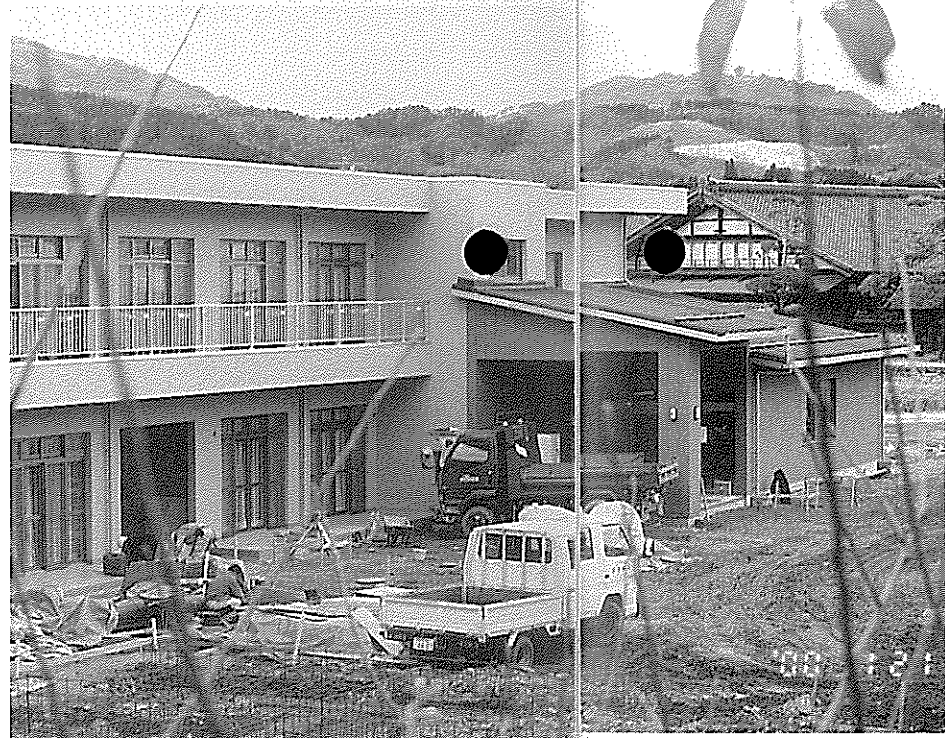
今回高森町で計画されています下伊那厚生病院の北となり地域の福祉の拠点となる施設に豊丘村として参加することに決まりました。

建設を計画されている施設に

- 一、特別養護老人ホーム六十床 (痴呆者の対応あり)
- 一、ショートステイ 二十五床
- 一、デイサービスセンター
- A型(重度) 十五人程度
- E型(痴呆) 八人程度

この建設計画についての専門委員会は十名で構成されており、豊丘村からは林助役と鹿角の二名が参加しております。

専門委員会では基本的な面を検討し、研究検討委員会にて細



2月1日オープンの特養「ゆいの里」(天竜峡)

部検討をすることになっております。基本的な考えとしては、施設を利用する人の立場に立った施設医療や、保健と連携した施設、介護保険以外の福祉も考慮した施設作りを考えております。

今後の一番大きな課題は施設運営にあります。赤字経営では困るし、又、職員が利用者の立場や、生活の場としての環境を

どのようにつくっていくのか、職員教育は施設長の考えと指導にかかっていると思われ、何箇所かの施設を視察している感じがしましたが、人と人のつきあいの難しさを痛感した次第です。

(社会委員長 鹿角鐵男)

経済 建設 求められる排水機能の強化 請願・陳情の審議から

○竜東井の排水機能改善の陳情 (北市場三党会提出)

うるし沢川堤防によってせき止められてしまう地区で、竜東井の水路が唯一の排水機能を持っていることから、改善の陳情が出されました。道路幅の拡大、住宅地区の増加など、降雨時の水量が年々増しており、総合的な排水対策と、局所的な改善策が必要と見られます。採択としました。

水路としての機能維持という大切な役割を持つていることを重に考えて採択としました。

○県道の兼用側溝整備に係る負担軽減の陳情 (区長会提出)

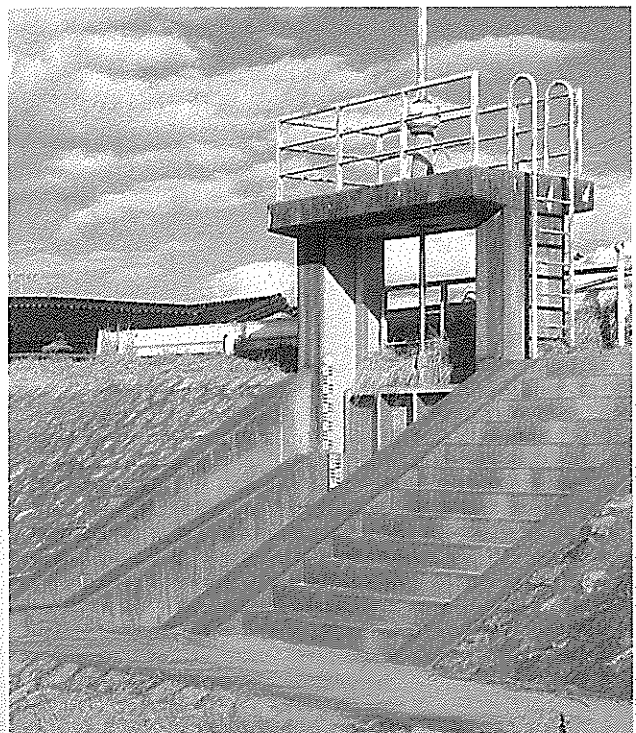
県道を横切る水路工事の地元負担率二〇%を軽減してほしいというものです。バス路線の水路は地元負担を求めていることとあり、同等にすべきと考え採択。

○水路事業の地元負担率の軽減の陳情 (区長会提出)

水路管理者の高齢化、水田減反等維持管理することがむずかしい時代になってきました。排

○松喰虫の空中防除の陳情 (区長会提出)

伐倒燻蒸処理を唯一の方法として取り組んできましたが、決定的な効果とは言えません。



天竜川への排水門扉 (北市場三)

国、県から七〇%近い助成でありながら、二千五百万円を越える村費の投入を必要とするようになってきました。一方、空中防除も環境破壊をはじめ多くの問題を持っております。六月の議会から二回の継続審議の末、区有林等限定された地区での散布効果も期待できることから採択としました。

会 議 三 二 辞 典

地方分権と

地方議会

昨年七月第一四五通常国会に於いて「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」(以下「地方分権一括法」という)が可決成立いたしました。

「一括法」は、地方分権を推進し、二十一世紀の新しい時代にふさわしい基本的な行政システムを構築しようとするものであります。四月から施行されます。

全国の地方自治関係者の長年の念願であったこの「地方分権」地方議会に関する部分では「地方議会の活性化及び議員

定数の見直し」

◎議案提出要件及び修正動議の発議要件を緩和するとして、現行八分の一以上を十二分の一以上に改正される。

◎議員定数制度の見直しでは現在、人口区分で法定数が定められ、村の条例で減数されておりますが、改正では、定数は条例で定める事とし、人口区分に応じた上限数を設定する事になります。

豊丘村の上限数は十八人です。

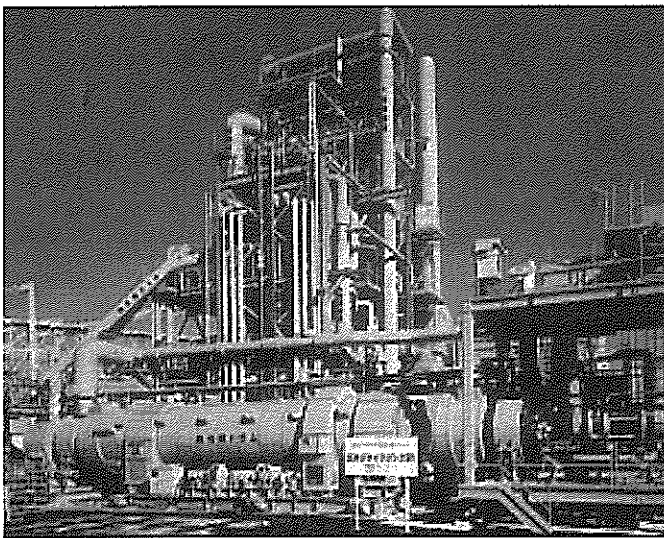
広 域 議 会

焼却炉視察記

広域連合では、新ゴミ焼却施設及び粗大ゴミ資源化施設を、平成十四年十二月稼働開始を指して、現在地(桐林)に建設計画が進められております。広域議会では、当面する最重要課題である、新ゴミ焼却施設、ガス化溶融炉実証プラントを、神奈川県藤沢市エバラ製作所と千葉県市原市三井造船(株)に視察研修を行った。

これまでの(現在)焼却は、持ち込まれたゴミを八百度の焼却炉で燃焼、灰は各町村で引き取り埋め立てをしてきた。

ダイオキシン等環境対策に対応できるガス化溶融炉は、ゴミを最初四百五十度で低温蒸焼し、次に千三百度で高温溶融すると、ダイオキシンは規制値以下となる。



三井造船(株) キルン方式ガス化溶融炉(一日24時間処理)

広域連合議会 第1回定例会

十一年南信州広域連合第一回定例会は十一月十九日開催された。

この日付された事項は、◎連合広域計画、◎特養会計補正、◎十年決算認定六件であり、原案通り可決された。

▼介護保険がいよいよ四月からスタートする。政府が「特別対策」を発表した。保険料の徴収延期はよいが、その後のことは対策がたっていない。これでは選挙目的と言われても仕方がない。法案成立から二年が経過し、あと数ヶ月しかないのに中身が変わったりして、政府の迷走ぶりはなほだしい。結局一番迷惑するのは現場だが、少なくとも現在福祉サービスを受けている人、低所得者が制度から排除されたり、サービスを調整することのないようにしてもらいたい。

▼コンピューターの二〇〇〇年問題が年末から新年にかけて大きな問題となった。どこでも特にそれほど大きな問題は発生しなかった。一部で多少の問題が出たとマスコミでも言っている。二〇〇〇年対応ということでは対処したからほとんどなにもなかったのだから、私たちの生活すべてに大きくコンピューターがかかわっていることを痛感させられたのではないだろうか。

編集後記

- ◆十年度一般会計決算では、人件費、伊良湖畔信州の管理費他で九千五十一万円。
- ◆ふるさと市町村計画基金会計では、地域活性化事業、等ソフト事業費他で二千八百八十六万円。
- ◆広域消防会計では、二十一億七千七百七十三万円。
- ◆特養会計では、二十二億九千四百三十三万円。
- ◆阿南学園会計では二億七千四百三十三万円。
- ◆飯田環境センター会計では八億五千二百八十八万円。
- ◆合計で五十七億一千二百八十八万円の歳出決算であります。

